

単元の目標

「福祉」について図書資料やインターネット、体験活動を通して多角的に探究する活動を通して、福祉の基本となる考え方を深く理解する。そして、共に生きる社会の実現に向けて自分にできることを見だし、主体的に社会貢献しようとする態度を養う。

教材について（主なもの）

○図書・インターネット資料の活用（小単元1）
図書館やインターネットを活用し、福祉の基本となる概念や、身近な福祉の事例について多角的に情報を収集する。特に、体験活動（講話、手話、車椅子等）の前後で複数回資料調査を行うことで、課題の設定や追究の深化を図る。

○複数回行う施設との交流活動（小単元3）
福祉に関する多様な体験活動を導入する。具体的には、「福祉に関する講話」、「手話の出前講座」、「車椅子バスケット体験」、「保育園交流」を実施する。これらの活動を通して、多様な人々の生活上の困難さや工夫について実感を伴って理解し、共生社会の実現に向けた課題発見の機会とする。

知識・技能（知）

①福祉の基本的な考え方や、家庭・地域における福祉の多様な側面を理解している。
②目的に合わせて図書資料やインターネットから必要な情報を収集している。
③課題解決に必要な情報収集、整理・分析、及び効果的な表現の基本的な方法を理解している。

思考・判断・表現（思）

①体験や調査活動から得た情報をもとに、探究的な課題を適切に設定している。
②課題解決に必要な情報を多角的な視点から取捨選択し、比較・関連付けながら自分の考えを深めている。
③伝える相手や目的に応じて、体験や調査の結果を整理し、適切な方法で自分の考えを表現している。
④共に生きる社会の実現に向け、今の自分たちにできることを具体的に考え、行動案として表現している。

主体的に学習に取り組む態度（主）

①福祉に対する関心を深め、自ら問いを見出し、粘り強く課題解決に取り組もうとしている。
②他者との意見交換や協力を通して、進んで課題解決や行動に取り組もうとしている。
③福祉に関わる人々や体験活動を通して、社会の一員としての自覚を深め、よりよい未来に向けて主体的に関わろうとしている。

□主な学習内容 ・学習活動
〈評価観点〉→評価方法

課：課題設定 情：情報の収集 整：整理・分析 主：まとめ・表現 ツ：思考ツール（考えるための技法）

＜小単元1＞ いろんな体験をして、福祉の「なぜ？」を見つけよう	【小単元1で期待する子供の姿】 福祉の基本を理解し、探究すべき具体的な問いを設定できる。	＜小単元2＞ 小さな友達と交流して、優しさの工夫を考えよう	【小単元2で期待する子供の姿】 体験で人々の生活を理解し、課題解決へ粘り強く情報を集められる。	＜小単元3＞ 考えたことをまとめ、みんなに「できること」を伝えよう	【小単元3で期待する子供の姿】 学びを統合し、自分たちの行動案を効果的に表現し発信できる。
<div>課「福祉」に対するイメージマップ作りや、身の回りの福祉について話し合い、学習のねらいと計画を確認する。①② ・自分が考える福祉についてイメージマップを作成する。</div> <div>情福祉の基本的な考え方や共生社会の意義について知る。③ ・「福祉に関する講話」を聞く。</div> <div>情多様なコミュニケーションを学ぶ。④ ・「手話の出前講座」を開き、聴覚障害や手話について知る。</div> <div>情スポーツを通じてバリアを体感する。⑤⑥ ・「車椅子バスケット体験」を行い、車椅子の操作を体感したり、パラスポーツについて知ったりする。</div> <div>情講話後の気づきをもとに、図書資料やインターネットを活用し、課題設定に必要な基礎知識や事例を収集する。⑦⑧⑨⑩ ・「福祉」に関する「問い」や「疑問」を集め、「調べる内容」を具現化する。 ・図書資料やインターネットを活用し、関連情報や事例を集める。</div> <div>課情報をもとに、グループごとに探究テーマを決める。⑪⑫</div> <div>整収集した情報や講話の内容を整理し、探究テーマ（問い）を決定・焦点化する。⑬⑭ ・集めた情報と疑問を「情報カード」で整理し、体験活動で「何を知りたいか」を考える。</div>	<div>ツ：ウェビングマップ（知識の可視化、イメージの共有） 〈主①〉 ワークシート</div> <div>〈知①〉 ワークシート</div> <div>〈知①〉 ワークシート</div> <div>〈知①〉 ワークシート</div> <div>〈知②・知③・主②〉 ワークシート</div> <div>ツ：クラゲチャート（情報の構造化、問題の明確化） 〈思①〉 ワークシート</div> <div>ツ：ロジックツリー（思考の焦点化、目的設定） 〈思②・主①〉</div>	<div>課 交流の目的と方法をグループで話し合う。⑮ ・交流活動のねらいと、子どもたちとの関わり方のルールをグループで明確にする。</div> <div>情 保育園を訪問し、子どもたちと活動する。⑯⑰ ・交流中の保育園児への声かけや配慮の様子をメモし、課題解決のヒントを探す。</div> <div>情 交流で感じたことや気づきを整理する。⑱ ・交流前後の変化や気づきをウェビングマップで可視化し、新たな視点を共有する。</div> <div>整 全活動を統合し、行動案を練る。⑲⑳ ・すべての体験・調査の情報を KJ 法で分類・統合し、探究テーマへの結論と具体的な行動案を作成する。</div>	<div>〈思③〉 授業の様子</div> <div>〈主②・③〉 交流の様子</div> <div>ツ：ウェビングマップ 〈思②〉</div> <div>ツ：KJ 法 〈思②・④〉</div>	<div>主行動案を具体化し、最終的な提言としてまとめる。 ・グループの行動案と根拠（理由）をロジックツリーで最終チェックし、提言を決定する。㉑㉒㉓</div> <div>主発表資料の作成㉔㉕㉖㉗ ・発表を聞く「相手の顔」を具体的に想定し、伝わりやすい言葉遣いや図を工夫して資料を作成する。</div> <div>主学習成果の発表と振り返り㉘㉙㉚ ・発表後、友だちからの質問や意見を真摯に受け止め、学びを今後の生活にどう生かすか振り返る。</div> <div>自分ができることをプレゼンテーションにまとめた発表</div>	<div>〈知③・思④〉 授業態度・ワークシート</div> <div>〈思③・主②〉 プレゼン・発表</div> <div>〈知①・主①・③〉 プレゼン・発表</div>

単元のゴールイメージ

○多様な人々の生活を理解し、福祉の基本的な考え方（全ての人を大切にする心）を自分の言葉で説明できる。
○体験や調査で発見した課題に対し、「今の自分たちにできること」を具体的に設定し、行動の計画を自信をもって発表できる。
○保育園交流などの活動を通して社会の一員としての自覚を深め、よりよい社会の実現に向けて、今後も自ら進んで関わろうとする意欲をもっている。